都市鉄道利便增進事業費補助

神奈川東部方面線





鉄道助成部 助成第二課



- 1. 補助制度及び事業概要
- 2. 補助金手続きと審査実績
- 3. 補助金審査(交付(繰入)決定)
- 4. 補助金審査(実施計画変更)
- 5. 実施状況報告
- 6. 年度終了報告
- 7. 補助金審査(現地審査)
- 8. 補助金審査(額の確定)

1-1 補助制度及び事業概要



〇補助制度の概要

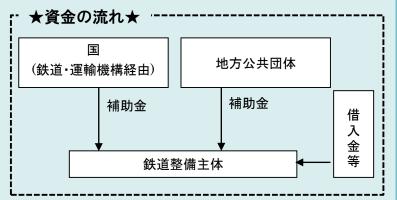
都市鉄道の既存ストックを有効活用しつつ、速達性の向上及び駅施設の利用円滑化を図ることにより、利用者の利便を増進し、もって活力ある都市活動及びゆとりある都市生活の実現に寄与することを目的とし、必要な施設整備に対して補助するものである。

〇補助制度の内容

- ●補助率 …・補助対象経費の3分の1以内(地方公共団体の補助金額と同額)
- ●補助対象 · · · 速達性向上事業(既存の**都市鉄道施設の間を連絡する**新線の建設等)
 - ·駅施設利用円滑化事業(既存の**駅施設における乗継ぎ等を円滑にする**ための都市鉄道施設の整備等)
- ●補助対象事業者 …・地方公共団体の出資に係る法人及び鉄道・運輸機構
- ●予算額の推移

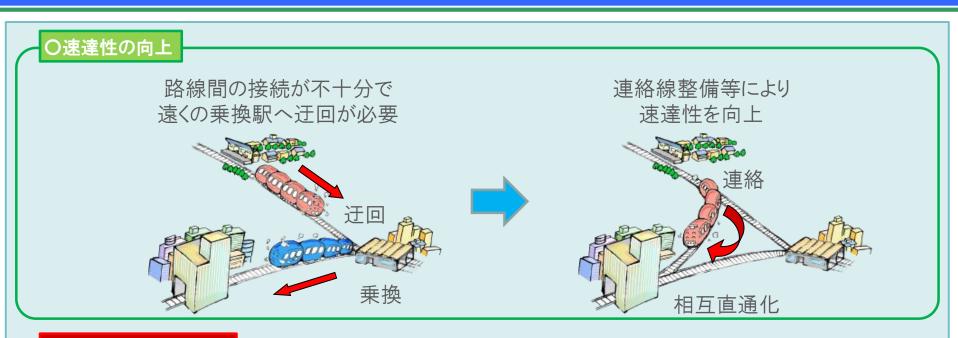
単位:百万円

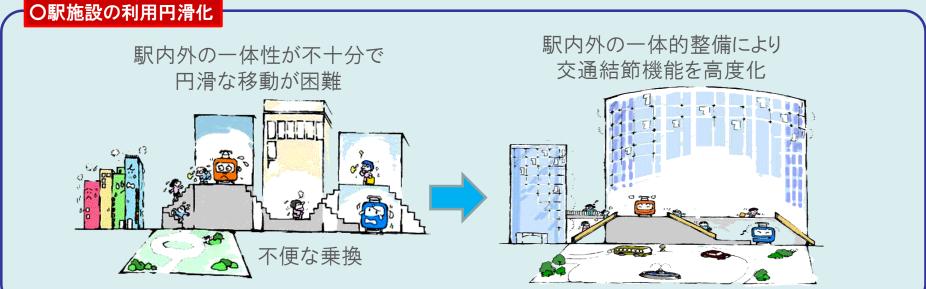
年度	H28	H29	H30	R1	R2
予算額	13, 600	11, 568	11, 568	11, 568	11, 568



1-2 補助制度及び事業概要







1-3 補助制度及び事業概要



事業概要(神奈川東部方面線)

〇 整備個所:西谷~羽沢横浜国大(SJ線)

羽沢横浜国大~日吉(ST線)

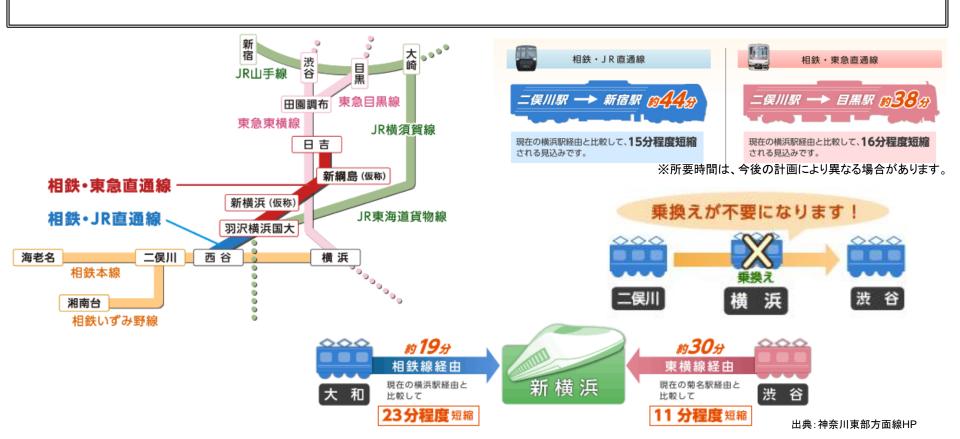
〇 総事業費:約4,022億円

○ 整備期間:令和元年11月30日開業(SJ線)

令和4年度下期開業予定(ST線)

〇 整備効果

- ・横浜市西部・神奈川県央部と都心部との接続が強化
- ・広域鉄道ネットワークの形成
- 乗り換え回数の減少
- 新幹線へのアクセスが向上

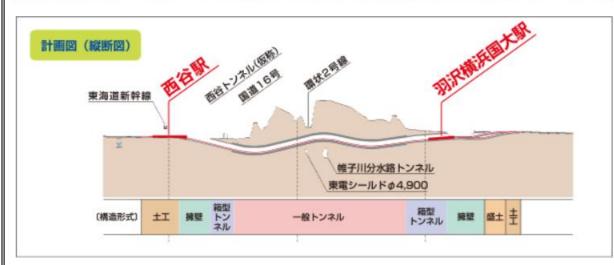


1-4 補助制度及び事業概要



事業概要(SJ線)





	事業概要				
整備区間	相鉄本線西谷駅~JR東海道貨物線横 浜羽沢駅付近(約2.7km)				
開業時期	2019年11月30日				
整備主体	鉄道・運輸機構				
営業主体	相模鉄道(株)				
運行区間	海老名駅・湘南台駅〜西谷駅〜 羽沢横浜国大駅〜新宿方面				
運行頻度	朝ラッシュ時間帯:4本/時 程度 その他時間帯:2~3本/時 程度				



相鉄·JR直通線開業記念出発式



ハザコクフェスタ(羽沢横浜国大駅)

出典:神奈川東部方面線HP

1-4 補助制度及び事業概要





1-5 補助制度及び事業概要

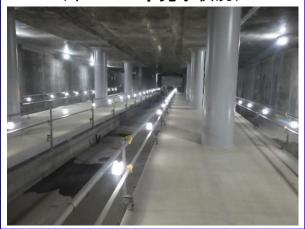


新横浜駅工区

【工事進捗状況】

- ○用 地
 - •買 収 2名/2名
- ○本工事:地下4層、2面3線の開削 駅(地下鉄3号線受替含む)
 - •一般部(機構施工区間): 出入口•換気塔工事施工中 建築工事施工中 機械工事施工中 電気工事施工中
 - •3号線交差部(市交通局委託区間): 躯体構築工事完了 3号線新横浜駅工事施工中

<ホーム工事完了状況>



新横浜トンネルエ区

【工事進捗状況】

- ○用 地
 - •地上権 174名/174名
- ○本工事:複線シールドトンネル(3,304m)
 - ・トンネル掘進中(掘進距離 2,900m) ※9月末時点

<トンネル施工状況>

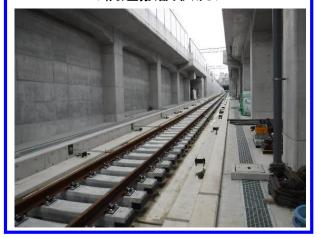


日吉工区 (東急委託区間)

【工事進捗状況】

- ○用 地
 - ·買 収 4名/4名(本線) 11名/13名(付替道路)
 - ・残り2名は引き続き任意協議を実施
- 〇本工事: 東横線高架を改築し、連絡線 を開削トンネル他で計画
 - ・旧東横線撤去等は完了 H31.3
 - 躯体構築工事施工中
 - 軌道工事施工中

<軌道敷設状況>



2-1 補助金手続きと審査実績



口補助金交付(繰入)状況

■平成30年度予算		令和元年度執行						単位:円	
前年度繰越額	前年度執行額	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	精算払額	令和元年度 執行額合計	執行額合計	額の確定額
2,687,000,000	7,777,667,671	180,000,000	10,000,000	60,000,000	-	2,437,000,000	2,687,000,000	10,464,667,671	10,464,667,671

■ <u>令和元年度予算</u>			令和元年度執行					単位:円	
		交付決定額	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	精算払額	令和元年度 執行額合計	次年度繰越額
	元年度1事業年度目	10,239,201,726	123,000,000	1,400,000,000	1,900,000,000	6,401,201,726	-	9,824,201,726	415,000,000
	29年度3事業年度目	1,103,332,329	1,103,332,329	0	0	0	-	1,103,332,329	_
	30年度2事業年度目	225,465,945	0	0	0	225,465,945	-	225,465,945	-

口令和元年度の主な事業内容

≪ST線≫

- ■羽沢トンネル 軌道工事
- ■新横浜駅 建築、電気、機械工事等
- ■新横浜トンネルトンネル掘進工事
- ■新綱島駅 躯体構築、建築工事等
- ■綱島トンネルトンネル掘進工事
- ■日吉駅 躯体構築、軌道工事等 他

トンネル内電気設備(電車線設備)

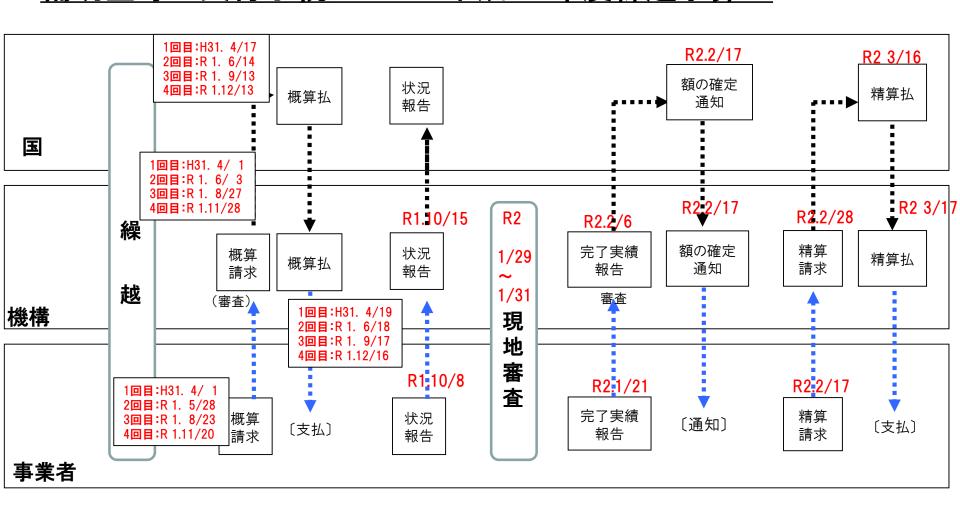


出典:神奈川東部方面線HP

2-2 補助金手続きと審査実績



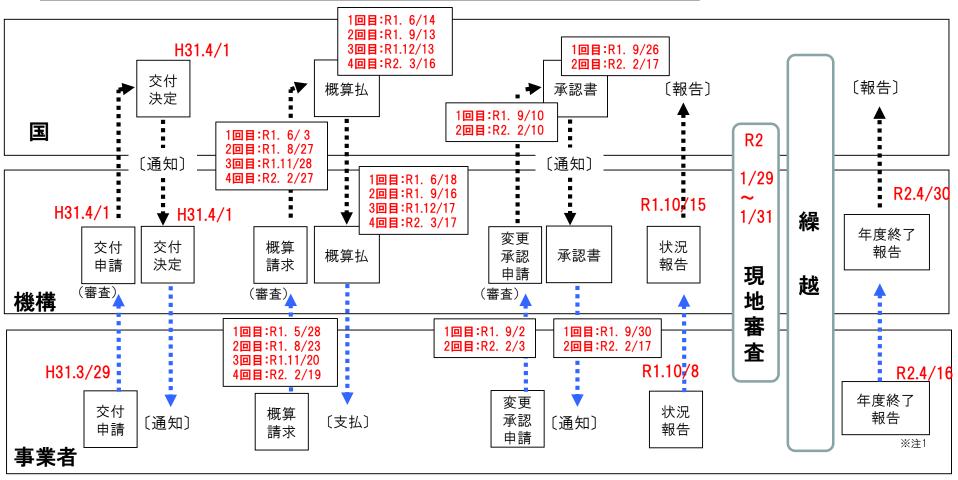
口補助金等の交付手続フローく平成30年度繰越予算>



2-3 補助金手続きと審査実績



口補助金等の交付手続フローく令和元年度予算>



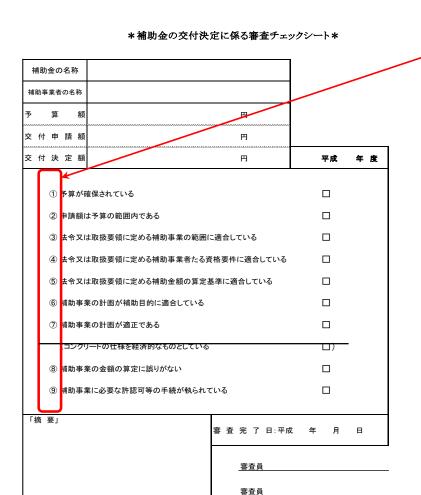
注1. 事業が年度内に完了しなかったため、「年度終了報告」の手続きを行った。

3-1 補助金審查(交付(繰入)決定)

BiffBild 鉄道建設·運輸施設整備支援機構



口交付(繰入)決定に係る審査(要領第6条)



JRTT Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

審査チェック対象

(番号はチェックシートの項目番号)

	申請書	取扱要領
1	_	第4条
2	第1号、第2号	第4条2項、第4条3 項
3	第2号	第3条、第4条
4	第1号	第4条2項
5	第1号、第2号	第4条3項
6	第2号	第4条1項
7	第2号	第5条
8	第2号	_
9	必要な許認可等	の手続きを確認

3-2 補助金審查(交付(繰入)決定)



口交付(繰入)申請書(要領第1号様式)簡略版

平成30年度予算

平成30年3月30日

建設勘定 → 助成勘定

理事長代理 殿

(4)

副理事長 印

25

繰入申請額:10,464,667,671円

補助事業の目的及び内容(要旨):

横浜市西部及び神奈川県央部と東京都心部を直結することにより、両地域間の速達性の向上や広域鉄道のネットワーク形成と機能の高度化を図ることを目的とし、連絡線の整備等を行う。

	T		1
区 分	線 名 等	事業費 (百万円)	備考
整備新幹線整備	北海道新幹線(新青森~新函館北斗)	3,000	
事業費補助	北海道新幹線(新函館北斗~札幌)	37,000	
	北陸新幹線(金沢~敦賀)	225,000	
	九州新幹線(武雄温泉~長崎)	83,000	
	āt	348,000	
都市鉄道利便増	神奈川東部方面線	34, 776	
進事業費補助			
	計	34, 776	
都市鉄道整備事	札幌市 (耐震対策)	484	
業費補助	仙台市 (東西線建設)	210	

神奈川東部方面線

34,776百万円

	計	18, 084	
幹線鉄道等活性	大阪外環状鉄道(株)(大阪外環状線)	6, 752	
化事業費補助	地域公共交通活性化・再生法法定協議会		
	(三陸鉄道(株)	287	
	(えちごトキめき鉄道㈱)	26	
	(あいの風とやま鉄道㈱)	93	
	(若桜鉄道㈱)	308	
	(高松琴平鉄道㈱)	461	
	(平成筑豊鉄道㈱)	58	
	計	7, 985	
鉄道駅総合改善	地域公共交通活性化・再生法法定協議会		
事業費補助	(JR東日本関内駅)	903	
	(阪急電鉄・京福電気鉄道西院駅)	498	
	(相模鉄道海老名駅)	726	
	(㈱横浜シーサイドライン(京浜急行電鉄金沢八景駅)	800	
	東京急行電鉄㈱(池上駅)	117	
	小田急電鉄㈱(中央林間駅)	144	
	西武鉄道㈱ (多磨駅)	300	
	北海道旅客鉄道㈱(白老駅、南小樽駅)	254	
	青森県(青森駅)	4	
	東日本旅客鉄道㈱ (青森駅、松島海岸駅)	129	
	東海旅客鉄道(㈱ (岩波駅、緒川駅)	305	
	西日本旅客鉄道㈱(西大路駅、宇部駅、下深川駅、	1,437	
	柳井駅、南岩国駅、桃山駅 岩出駅)		
	右山駅/ 九州旅客鉄道㈱(上伊集院駅、大在駅)	344	
	元州旅各鉄追附(上伊耒阮駅、入任駅) 京成雷鉄㈱(菅野駅)	334	

3-3 補助金審査(交付(繰入)決定)



口交付(繰入)申請書(要領第2号様式)簡略版

平成30年度予算

平成30年度補助事業実施計画書

1 補助事業の目的及び内容 _{省略}

2 補助対象経費の内訳

235678

区分	金額	備考
本工事費	31,572,000,000	
附帯工事費	2,516,000,000	
用地費	688,000,000	
合計	34,776,000,000	

3-4 補助金審査(交付(繰入)決定)



口交付(繰入)申請書(要領第1号様式)簡略版

平成30年度予算

平成30年3月30日

建設勘定 → 助成勘定

理事長代理 殿

副理事長 印

繰入申請額:10,464,667,671円

補助事業の目的及び内容(要旨):

横浜市西部及び神奈川県央部と東京都心部を直結することにより、両地域間の速達性の向上や広域鉄道のネットワーク形成と機能の高度化を図ることを目的とし、連絡線の整備等を行う。

平成30年4月2日

助成勘定 → 国

国土交通大臣 殿

機構理事長 印

交付申請額:10,464,667,671円

補助事業の目的及び内容(要旨):

横浜市西部及び神奈川県央部と東京都 心部を直結することにより、両地域間の速 達性の向上や広域鉄道のネットワーク形 成と機能の高度化を図ることを目的とし、 連絡線の整備等を行う。

繰入申請のあった金額を 国へ通知

3-5 補助金審查(交付(繰入)決定)



口交付(繰入)決定通知(要領第6条、繰入基準第6条)簡略版

国 → 助成勘定

平成30年4月2日

機構理事長 殿

国土交通大臣 印

交付決定通知書

申請のあった補助については、下記のと おり交付することを決定したので、通知す る。 助成勘定 → 建設勘定

平成30年4月2日

副理事長 殿

理事長代理 印

繰入決定通知書

申請のあった補助については、下記のとおり繰り入れすることを決定したので、通知する。

国から通知された金額を 建設勘定へ通知

補助金の額 金 10, 464, 667, 671円

補助金の額 金 10, 464, 667, 671円

注) 令和元年度予算の交付(繰入)決定についても同様に通知。

4-1 補助金審査(実施計画変更)



平成30年度予算

平成31年2月1日

建設勘定 → 助成勘定

理事長代理 殿

副理事長 印

補助事業実施計画変更承認申請書

平成30年度における補助事業について、 別紙の通り計画を変更したいので、承認されるよう申請します。 平成31年2月5日

助成勘定 → 国

国土交通大臣 殿

機構理事長 印

補助事業実施計画変更承認申請書

平成30年度における補助事業について、 別紙の通り計画を変更したいので、承認されるよう申請します。

別紙等も確認し国へ通知

4-2 補助金審査(実施計画変更)



口補助事業実施計画変更承認申請書(要領第2号様式)簡略版

平成30年度予算

平成30年度補助事業実施計画書

1 補助事業の目的及び内容 _{省略}

2 補助対象経費の内訳

変更理由や補助事業実施 計画書の金額の根拠等に ついては、詳細な資料や担 当者からのヒアリング等を 行う。

区分	金額	備考
本工事費	32,079,371,000	
附帯工事費	2,476,863,000	
用地費	219,766,000	
合計	34,776,000,000	

4-3 補助金審査(実施計画変更)



口<u>補助事業実施計画変更承認書簡略版</u>

平成30年度予算

国 → 助成勘定

承 認 書 (神奈川東部方面線)

理事長 殿

申請のあった平成30年度の補助事業実施計画の変更については、承認する。

平成31年2月15日

国土交通大臣 印

助成勘定 → 建設勘定

承 認 書 (神奈川東部方面線)

副理事長 殿

申請のあった平成30年度の補助事業実施計画の変更については、承認する。

平成31年2月15日

理事長代理 印

建設勘定へ通知

5-1 実施状況報告



口補助事業実施状況報告書(要領第7号様式)簡略版

補助事業実施状況報告書は**補助金取扱要領第9条**の規定により建設勘定から助成勘定へ提出されるもの。

平成30年度予算

平成31年3月5日

建設勘定 → 助成勘定

理事長代理 殿

副理事長 印

補助事業実施状況報告書

繰入基準に基づき通知があった補助事業の実施状況について、繰入基準第9条第2項の規定により別紙のとおり報告します。

平成31年3月11日

助成勘定 → 国

国土交通大臣 殿

機構理事長 印

補助金年度終了実績報告書

交付要綱第6条1項の規定に基づき補助 事業の実施状況について、補助金適正化 法第12条の規定により別紙のとおり報告 します。

別紙等を併せて確認し国へ通知

5-2 実施状況報告



口補助事業実施状況表(要領第7号-3様式)簡略版

(単位:円)

平成30年度補助事業実施状況表

3月末までの 備考 区分 計画額 実績見込額 地質不良による不具合対策に時間 本工事費 32,070,746,000 23,711,606,709 を要し、繰越が必要となった。 関係者との協議に時間を要したた 附帯工事費 2,476,863,000 2,414,168,375 め、繰越が必要となった。 用地取得について、関係者との協 用地費 228,391,000 222,644,676 議に時間を要したため、繰越が必 要となった。 合計 26,348,419,760 34,776,000,000

6-1 年度終了報告



口<u>補助金年度終了実績報告書(要領第9号様式)簡略版</u>

平成30年度予算

平成31年4月17日

建設勘定 → 助成勘定

理事長代理 殿

副理事長 印

補助金年度終了実績報告書

補助金繰入基準第6条の規定に基づき、 助成勘定から通知のあった年度終了実績 について、繰入基準第10号条ただし書き の規定により別紙のとおり報告します。 平成31年4月24日

助成勘定 → 国

国土交通大臣 殿

機構理事長 印

補助金年度終了実績報告書

補助金交付要綱第6条1項の規定に基づ き年度終了の実績について、補助金適正 化法第14条後段の規定により別紙の通り 報告します。

別紙等を併せて確認し 国へ通知

6-2 年度終了報告



口<u>補助金年度終了実績報告書(要領第9号様式別紙)簡略版</u>

平成30年度予算

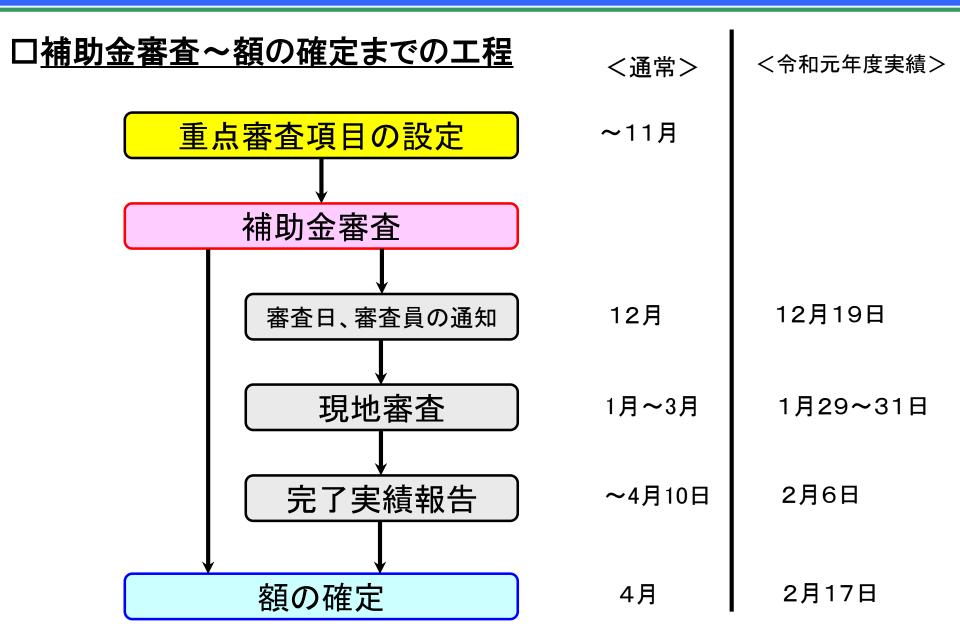
(単位:円)

平成30年度補助事業年度終了実績報告書

区分	計画額	実績額	進捗率	備考
本工事費	32,070,746,000	23,711,606,709	73.9%	地質不良による不具合対策 に時間を要し、繰越が必要と なった。
附帯工事費	2,476,863,000	2,414,168,375	97.5%	関係者との協議に時間を要したため、繰越が必要となった。
用地費	228,391,000	222,644,676	97.5%	用地取得について、関係者と の協議に時間を要したため、 繰越が必要となった。
合計	34,776,000,000	26,348,419,760	75.8%	

7-1 補助金審査(現地審査)

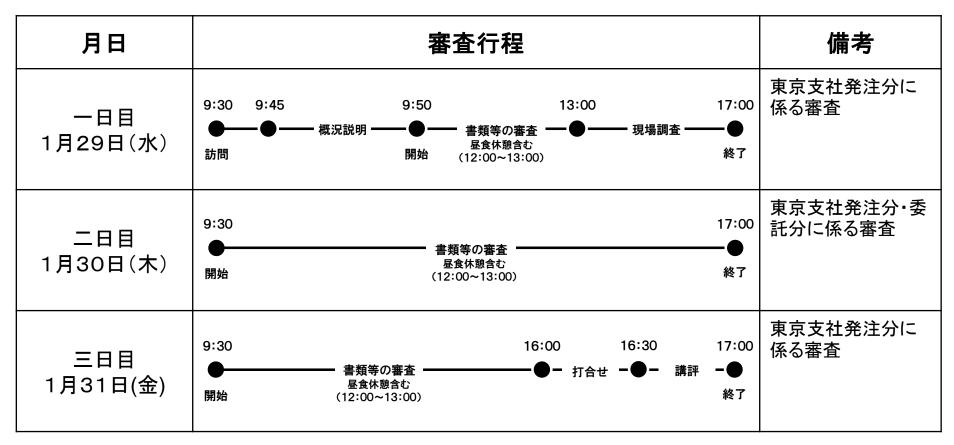




7-2 補助金審査(現地審査)



口現地審査行程





東京支社

13:00発

機構車 50分

40分

徒歩

20分 羽沢変電所

機構車 25分

新横浜駅

30分

機構車 20分

30分 新綱島駅

14:35着~14:55発

15:20着~15:50発

16:10着~16:40発

7-3 補助金審査(現地審査)



書類等の審査のポイント

- ●事業内容(契約、工事等)が補助目的に沿ったものであるか。
- ●補助事業の遂行上、必要なものであるか。
- ●補助事業としての手続きの正確性、合規性。
- ●補助事業内容の経済性、効率性、有効性。

現場調査のポイント

- ●補助目的が達せられているか
- ●設計図書、仕様書のとおりに完成しているか
 - ▶ 施工内訳、施工幅員
 - ▶ 構造物の寸法、仕上 等



現場調査の様子

7-4 補助金審査(現地審査)



口抽出審査について

◆審査対象件数が多い場合等において、抽出審査を行うことができるものとしている。

「鉄道助成関係補助金等繰入審査マニュアル」(抄)

- III 補助金等の繰り入れ額の確定に係る審査
 - 1 審査の方法等

補助金等の繰り入れ額の確定に係る審査は、次に掲げる方法により実施するものとする。 なお、重点審査項目として定められたものについては、特に重点的に審査を行うものとする。 また、対象件数が多い場合などには、審査の効率性等を勘案し、事前審査を行うことができる ものとする。

- (1) 現地審査
 - ① 書類等の審査

(略)

なお、<u>対象件数が多い場合などには、当該事業の内容及び審査の効率性等を勘案して抽出し実施する</u>。

② 現場調査

(略)

なお、<u>対象箇所数が多い場合などには、当該事業の内容及び審査の効率性等を勘案</u> して抽出し実施する。

7-5 補助金審查(現地審查)



口抽出審査について

- ◆抽出にあたっての条件は以下のとおり。
- ① 契約件数は20件以上を抽出
- ②「工事」、「調査・設計・測量」、「機械器具・設備」、「用地の取得等」、「建物移転等の補償」、 「物品・材料購入等」を網羅するように抽出
- ③抽出審査金額の割合は、全審査対象金額の25%程度以上
- ◆神奈川東部方面線における抽出概要 (令和元年度審査対象分)
- ① 抽出件数 99件(総契約件数 273件)
- ② 〈内訳〉・「工事」48件、・「用地の取得等」「建物移転等の補償」11件
 - ・「調査・設計・測量」5件・「機械」5件・「物品、その他、協定」30件
- ③ 抽出金額の割合 約82.8%

7-6 補助金審査(現地審査)



口書類等の審査(審査チェック対象項目(事項:工事))

工事内容の確認

6 発生品の処理に関する確認

2 契約方法

7 委託工事の確認

③ 契約内容

- 8 直営工事に関する確認
- 4 工事施工に関する確認 9 支払に関する確認
- 5 工事完了に関する確認

7-7 補助金審査(現地審査)



□審査調書(様式)

【様式3】

補助対象建設費明細(平成〇〇年(繰越・当年)分)

(単位:円) 契約内容 支払状況 補助対象経費 予定価格 下段:(消費稅込額) 備考 完了予定 契約件名 契約金額 支払年月日 支払(見込)額 決算(見込)額 検収年月日 支払区分 費目 年月日 うち補助対象外 うち補助対象外 下段:(消費稅込額) (契約の相手方) 下段:(消費稅込額) 下段:(消費稅込額) 契約方式 下段:(消費税込額) 下段:(消費稅込額 13478 契約内容 (4)(5)453 予定価格 支 積 給品 審 下段:(消費税込額) 完了予定 算 査 契約件名 契約年月日 契約金額 年月日 うち補助対象外 検収年月日 番 方 (契約の相手方) (変更後) 下段:(消費稅込額) 有 (変更後) 下段:(消費稅込額) 号 契約方式 無 工事費計 支払状況 補助対象経費 (6)控除収入計 (5)(9)支 考 補助対象建設費計 払 支払年月日 支払(見込)額 決算(見込)額 費目 うち補助対象外 区 (見込) 下段:(消費稅込額) 下段:(消費稅込額) 総合計 下段:(消費稅込額) 分

8-1 補助金審査(額の確定)



口完了実績報告(要領第8号様式)簡略版

建設勘定 → 助成勘定

令和2年1月21日

理事長代理 殿

副理事長 印

補助事業の完了の実績は、 金34,776,000,000円であることを報 告します。

区分	金 額	備考
本工事費	32,070,746,000	
付帯工事費	2,476,863,000	
用地費	228,391,000	
合計	34,776,000,000	

助成勘定 → 国

令和2年1月21日

国土交通大臣 殿

理事長 印

補助事業の完了の実績は、 金34,776,000,000円であることを報 告します。

区分	金 額	備考
本工事費	32,070,746,000	
付帯工事費	2,476,863,000	
用地費	228,391,000	
合計	34,776,000,000	

報告のあった金額を国へ通知

8-2 補助金審査(額の確定)



口審査チェックシート



※審査結果の詳細については次ページ以降参照

8-3 補助金審査(額の確定)



口審査チェックシート

事項工事	該当の有無	有┃Ⅰ	無
(1)書類等の審査			
①工事内容の確認			
・工事内容が補助事業に適合している		Þ	
②契約方法			
・契約手続が適正に行われている		D	
・随意契約の理由が妥当である		Þ	
③契約内容			
・適正な契約書等が整えられている		Þ	
・契約金額の基となる積算方法が適切である		Þ	
(コンクリートの仕様を経済的なものとしている		(
・工事内容の変更に伴う契約変更手続が執られ	ている	Þ	
④工事施工に関する確認			
・施工管理が適正に行われている		Þ	
・支給品の管理が適正に行われている		Þ	
⑤工事完了に関する確認			
・しゅん功確認が適正に行われている			
・工事が適正に完了している		Þ	
⑥発生の処理に関する確認			
・発生品の処理が適正に行われている		Þ	
⑦委託工事の確認			
・委託工事の内容が補助事業に適合している		Þ	
・適正な協定書等が整えられている		b	
・委託工事が適正に履行されている		Þ	
⑧支払に関する確認			
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われて	いる	Þ	
(2)現場調査		_	
・設計図書、仕様書等のとおりに完成している		<u> </u>	

事項 調査・設計・測量	該当の有無 (有 用
(1)書類等の審査	
①調査内容の確認	
・調査等の内容が補助事業に適合している	b
②契約方法	
・契約手続が適正に行われている	Þ
・随意契約の理由が妥当である	b
③契約内容	
・適正な契約書等が整えられている	b
・契約金額の基となる積算方法が適切である	b
・調査等の内容の変更に伴う契約変更手続が執	られている 🖢
④調査等の完了に関する確認	
・履行確認が適正に行われている	b
・調査等が適正に履行されている	b
⑤委託調査等の確認	
・委託調査等の内容が補助事業に適合している	b
・適正な協定書等が整えられている	b
・委託調査等が適正に履行されている	b
⑥支払に関する確認	
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われて	いる 🕒
⑦成果物の確認	
・設計図書、仕様書等のとおりに完了している	₽
(2)現場調査	
・設計図書、仕様書等のとおりに完了している	Ŀ

8-4 補助金審査(額の確定)



口審査チェックシート

市石 松林里月 : 扒供	該当の有無(有)無
事項 機械器具・設備	該当の有無(有)無
(1)書類等の審査	
①設備等の確認	
・設備等の内容が補助事業に適合している	□
②契約方法	
・契約手続が適正に行われている	₽
・随意契約の理由が妥当である	臣
③契約内容	
・適正な契約書等が整えられている	臣
・契約金額の基となる積算方法が適切である	₽
・設備等の内容の変更に伴う契約変更手続が執ら	れている 📭
④納入(設置)の完了に関する確認	
・履行確認が適正に行われている	□
・設備等の納入(設置)が適正に履行されている	Ŀ
⑤支払に関する確認	
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われてい	5 □
(2)現場調査	
・仕様書等のとおりに納入(設置)されている	₽

事項用地の取得等	該当の有無	有 無
(1)書類等の審査		
①取得内容の確認		
・土地等の取得又は使用の内容が補助事業に適合	合している	Ŀ
②取得価格の確認		
・適正な方法により取得価格が決定されている		₽
③契約内容		
・適正な契約書等が整えられている		Þ
④引渡し等の確認		
・土地の引渡しが適正に行われている		Þ
・権利取得等が適正に行われている		Þ
⑤支払に関する確認		
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われてい	る	Þ
(2)現場調査		
・補助事業の用に供すことが可能となっている		
一補助事業に適合して使用されている		-

8-5 補助金審査(額の確定)



口審査チェックシート

事項建物移転等の補償	該当の有無	有 無
(1)書類等の審査		
①補償内容の確認		
・補償が補助事業に起因している		Ŀ
②補償金額の確認		
・適正な方法により補償金額が算定されている		Ŀ
③契約内容		
・適正な契約書等が整えられている		Ŀ
④移転等の確認		
・補償対象建物等の移転が適正に行われている		Þ
⑤支払に関する確認		
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われてい	る	Þ
(2)現場調査		
・補償対象となった建物等の撤去が完了している		

*** ** ** ** ** ** **	=+ \(\o \tau - \frac{1}{2}	- fr
事項│物品・材料購入等	該当の有無	(有) 無
(1)書類等の審査		
①物品等の確認		
・物品等の取得目的、仕様、数量等が補助事業に	適合している	Þ
②契約方法		
・契約手続が適正に行われている		Þ
・随意契約の理由が妥当である		Þ
③契約内容		
・適正な契約書等が整えられている		Ŀ r
・契約の基となる金額の算定が適切である		Þ
④納入の確認		
・納入の確認が適正に行われている		Ŀ
⑤支払に関する確認		
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われてい	る	Ŀ
(2)現場調査		
一仕様、数量等が適正である		
事項を作品である。		有【無
「摘 要」		

8-6 補助金審査(額の確定)



□額の確定(要領第11条) → 請求

額の確定通知書(簡略版)

副理事長 殿

理事長代理 印

令和2年2月17日

実績報告のあった補助事業の実施につ いては、補助金額を下記のとおり確定した ので通知する。

記

補助金額 10, 464, 667, 671円

請求書(簡略版)

理事長代理 殿

副理事長 印

令和2年2月17日

額の確定通知を受けた補助金について、 下記のとおり請求します。

記

1 金額

2, 437, 000, 000円

確定通知額 10,464,667,671円

受領済額 8,027,667,671円

差引未受領額 2, 437, 000, 000円

振込先(略)

支 払



